

2. アーティスト・イン・ミュージアム(AiM)

「アーティスト・イン・ミュージアム」は実習棟を活用し、アーティストを招聘して公開制作と作品展示を行う事業である。アーティストの制作現場を間近に見て、時には一緒に制作を体験し、さらに完成した作品を見ることによってアートをより身近に感じてもらうことを目的とする。またアーティストにとっても、制作している姿を鑑賞者に見せることで自身の制作について新しい発見が生まれる。そして他者と関わりながら公共施設の空間を一定期間アトリエとして使用する経験は表現の幅を広げるきっかけとなる。

本年度は、岐阜県出身のアーティスト 渡辺泰幸(1969-)と田中彰(1988-)を招聘した。

アーティスト・イン・ミュージアム AiM 2017 渡辺泰幸

会 期 公開制作:2017(平成29)年7月15日(土)から8月13日(日)まで

展示:2017(平成29)年8月15日(火)から9月18日(月・祝)まで

会 場 岐阜県美術館 実習棟

観 覧 料 無料

主 催 岐阜県美術館

観覧者数 2,219人

内 容 渡辺泰幸は陶を素材とした、触れて音を愉しむ作品を制作する作家である。本企画では実習棟と庭園の木々に作品を設置し、自由に来場者に触れられるようにすることで、作品の質感や、それらの生み出す音の違いや響きを体感させた。また、演奏家による作品の公開演奏・パフォーマンスや、美術館内での演奏の録音を行った。

夏休み期間ということもあり、多くの子供たちが作品に触れる賑やかな場面が見られた。触れる、音を出せる作品ということで、静かに作品を鑑賞しなくてはいけないという美術館のイメージが変わったという反応もあった。美術館のサポーターや職場体験に来た生徒たちが、会場の設営やサポートを行いながら、作家と密に関わることで作品に対しての理解を深めた。

関連プログラム等 ●パフォーマンス(公開演奏)

【日時】平成29年8月6日(日) 16:30～

平成29年8月11日(金・祝) 13:00～/16:30～

各回約15分

【出演】永田砂知子(パーカッショニスト・即興演奏家)

【参加者数】8月6日:85人

8月11日:13:00～ 75人/16:30～ 52人

●トークイベント

①【日時】平成29年7月29日(土) 13:00～14:00

【出演】渡辺泰幸(招聘作家)

正村美里(副館長)

【参加者数】23人

②【日時】平成29年8月27日(日) 13:00～14:00

【出演】渡辺泰幸(招聘作家)

小川友美(特定非営利活動法人きそがわ日和アート・ディレクター)

【参加者数】30人



作品のレコーディングの様子(演奏:永田砂知子)



展示風景



展示作業の様子

アーティスト・イン・ミュージアム A i M 2017 田中彰

会 期 公開制作:2017(平成29)年10月20日(金)から11月12日(日)まで

展示:2017(平成29)年11月17日(金)から12月10日(日)まで

会 場 岐阜県美術館 実習棟

観 覧 料 無料

主 催 岐阜県美術館

観覧者数 2,459人

内 容 田中彰は大学在学中に学んだ版画技法を軸に、樹木などの自然物と向き合うことを制作に落とし込む作家である。本企画では、作家が約1か月間岐阜市に滞在し、木版画や庭園で剪定した枝葉を素材としたインスタレーション作品などを制作。滞在中に見た景色や関わった人々から得たインスピレーションを反映させながら制作を行った。

作家が周辺をリサーチしながら毎日実習棟へ通って制作を行うことで、岐阜の土地とつながりを持った作品が生まれた。来場者にとっては作家と話をし、一緒に制作を行って、作家の考えや創造の楽しさに触れる機会となった。また作家にとっても、広く天井の高い実習棟での活動は使用する材料の自由度が高く、表現の幅を広げるきっかけとなった。

関連プログラム等 ●クロストーク

【日時】平成29年11月4日(土) 14:00～

【会場】実習棟

【出演】田中彰(招聘作家)

澤宏司(数理科学 / Webマガジン『E!』責任編集(eureka-project.jp) / 国際基督教大学高校 / 学習院大学)

【参加者数】35人

●ワークショップ

アーティストとつくる木版画体験 コーヒー豆のお土産つき

(長良川おんぼく関連企画)

【日時】平成29年11月5日(日) 10:00～16:00

【参加者数】10人



作品制作の様子



展示風景



11月5日 ワークショップ「アーティストとつくる木版画体験」(長良川おんぼく関連企画)